

G-SHOCK

MT-G

取扱説明書

User's Guide

用户说明书

用戶說明書


5455(MTG)*JEKH

このたびは、本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

 **重要**

- こまめに時計の文字板に光を当てて充電してください。

 光で充電 (ソーラー充電) …J-17

本機の詳しい取扱説明書 (操作ガイド) およびQ&Aについては、下記ウェブサイトをご覧ください。

<http://casio.jp/support/wat/>

この時計の特長

◆光で発電して動きます

太陽や照明の光によって発電します。電気エネルギーを充電しながら時計は動作します。

→ J-17

◆正確な時刻がわかります

GPS衛星の電波や標準電波を受信し、正確な時刻を表示します。

→ J-19

◆ワールドタイムがわかります

世界40タイムゾーンの時刻を表示できます。
ワールドタイムの時刻表示と現在地の時刻表示を簡単に入れ替えることができます。

→ J-22

◆ストップウォッチとして使えます

経過時間を1秒単位で24時間まで計測できます。

→ J-23

◆タイマーとして使えます

設定時間をカウントダウン計測し、残り時間が0になるとタイムアップ音を鳴らしてお知らせします。

→ J-23

◆アラームを設定できます

設定した時刻になると、アラーム音を鳴らしてお知らせします。

→ J-23

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています(左の例は感電注意)。



⊘記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています(左の例は分解禁止)。



●記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)。

警告

スキューバダイビングには使用しないでください

本機をスキューバダイビングに使用しないでください。

- 本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。





二次電池の取り扱いについて

本機から二次電池を取り出さないでください。二次電池の交換は必ずお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。指定外の電池を使用したり、電池交換を誤ると、破裂、発熱、発火などによるやけどや火災の原因となります。

やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤って二次電池を飲み込むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。



二次電池の取り扱いについて

やむを得ず取り出した二次電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとしび易くなります。

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

- ① 金属・皮革に対するアレルギー
- ② 時計の本体およびバンドの汚れ・さび・汗等
- ③ 体調不良等

注意

かぶれについて

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

注意

分解しないでください

本機を分解しないでください。けがをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やけがの予防のため、十分に安全が確認された場所で行ってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

注意

ご使用にあたって

時計着脱の際に、バンドの中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬけがやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のけがやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

注意

ご使用にあたって

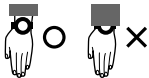
時計本体（裏ぶたを含む）やバンドに製品保護シールが付いている場合は、ご使用になる前に必ずはがしてください。シールをはがさずにご使用になると、「時計本体やバンド」と「シール」との隙間に汚れが付着し、さびやかぶれの原因となることがあります。

目次

この時計の特長.....	J-2
安全上のご注意.....	J-4
光で充電（ソーラー充電）.....	J-17
時刻合わせ（概略）.....	J-19
モードの種類と切り替え.....	J-22
飛行機内でのご使用について（機内モード）.....	J-24
文字板の表示.....	J-25
時刻合わせ（GPS）.....	J-27
受信に適した場所（GPS）.....	J-27
手動受信（GPS）.....	J-28
自動受信（GPS）.....	J-32

時刻合わせ (標準電波)	J-33
受信に適した場所 (標準電波)	J-33
自動受信 (標準電波)	J-34
りゅうずを使った操作.....	J-35
各モードの設定	J-36
時刻や日付の手動合わせ	J-37
製品仕様	J-38
ご使用上の注意.....	J-40
お手入れについて.....	J-47
本製品で使用している電池について	J-49
金属バンドの駒詰めについて.....	J-50

光で充電(ソーラー充電)



- 腕につけているときは、文字板(ソーラーパネル)に衣類の袖がかからないように心がけてください。文字板(ソーラーパネル)が一部でも隠れていると発電効率が低下します。



- 時計を腕から外しているときは、文字板(ソーラーパネル)に光が当たる明るい場所に置いて充電してください。

- 安定してご使用していただくために、週に1回、半日ほど日光に当てて充電することをおすすめします。

注意

- 充電の際、光源の条件や環境によっては時計本体が非常に高温になることがあります。火傷をしないように注意してください。

✔ 重要

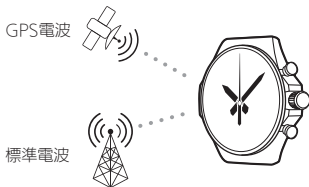
- 長い間光に当たらないと止まってしまいます。
- 電力が不足している場合、秒針が2秒または5秒ごとに動いたり、全く動かなくなつて充電不足を警告します。また、本機は節電のための機能も持っています。詳しくはウェブサイトの取扱説明書（操作ガイド）をご覧ください。
- 一度止まってしまうと、動き出すまでに長時間の充電が必要になります。
- 時計本体が約 -10°C 以下または約 60°C 以上になると充電できません。
- 時計が停止してから約3か月以上充電しないしていると過放電が検出されて、充電できなくなる可能性があります。

時刻合わせ(概略)

- ご購入直後は、「位置情報の取得(GPS)」(J-28ページ)を操作してください。
- 普段は、「自動受信(標準電波)」(J-34ページ)で時刻や日付を合わせてください。標準電波を受信できない地域では、「自動受信(GPS)」(J-32ページ)で時刻や日付を合わせてください。
 - 夜間(午前12時から午前5時)：受信に成功するまで一定間隔で自動受信(標準電波)を開始します。
 - 日中(午前6時から午後10時)：光が連続して時計に当たると自動受信(GPS)を開始します。
 - 1日に1回、どちらか(標準電波またはGPS電波)の受信に成功すると、その日は自動受信をしません。
- 時刻が合っていないときは、「時刻情報の受信(GPS)」(J-30ページ)を操作してください。

● 海外旅行などでタイムゾーンをまたぐ移動をされたときは、「位置情報の取得(GPS)」を操作してください。その後は、「自動受信(標準電波)」、「自動受信(GPS)」、「時刻情報の受信(GPS)」で時刻や日付を合わせてください。

- 時計の温度が約 -10°C 以下または約 60°C 以上では、GPS電波や標準電波を受信できなくなります。
- GPS電波や標準電波の受信による時刻合わせができないときは、平均月差 ± 15 秒の精度で動きます。

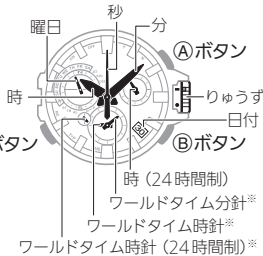


✔ 重要

- 「自動受信 (標準電波)」「自動受信 (GPS)」「時刻情報の受信 (GPS)」で時刻や日付が合わないときは、位置情報を取得 (GPS) した後、再度お試しください。
- 針や日付が適切な位置からずれていると感じられたときは、ウェブサイトの取扱説明書 (操作ガイド) をご覧になり、針や日付の補正をしてください。
- 標準電波を受信するのは、次の地域のうち電波が届く地域です。
日本、中国、北米、ヨーロッパ
詳しくは、ウェブサイトの取扱説明書 (操作ガイド) をご覧ください。
- 手動でホーム都市 (タイムゾーン) やサマータイムを設定する操作、時刻や日付を合わせる操作については、ウェブサイトの取扱説明書 (操作ガイド) をご覧ください。
<http://casio.jp/support/wat/>

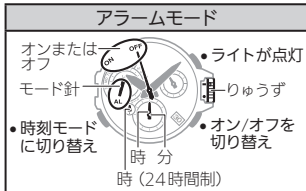
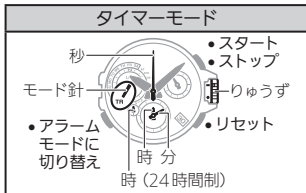
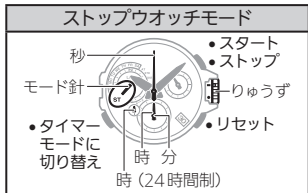
モードの種類と切り替え

- ©ボタンを押して、モードを切り替えます。

時刻モード	
<ul style="list-style-type: none">● 通常状態 (機内モードが解除されている状態) ではモード針が曜日を示します。● 機内モードでは、曜日の代わりに「↑」を示します。 	<p>①ボタン</p> <ul style="list-style-type: none">● 1回押すとライトが点灯します。● 3秒間押し続けると、ワールドタイムの時刻表示と現在の時刻表示が入れ替わります。 <p>②ボタン</p> <ul style="list-style-type: none">● 1回押すと電波の受信結果と位置情報の取得状況を確認できます。● 1秒間押し続けると、GPSから時刻情報の受信を開始します。● 3秒間押し続けると、GPSから位置情報の取得を開始します。

©

- ©ボタンを2秒以上押し続けると、時刻モードに戻ることができます。

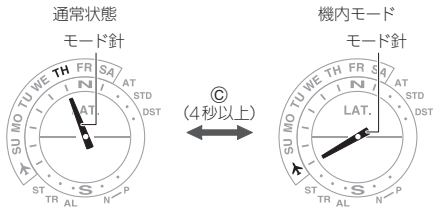


©

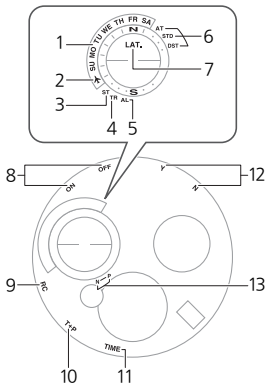
※ ワールドタイム都市を設定すると、その都市の時刻(ワールドタイム)を確認できます (J-36 ページ)。

飛行機内でのご使用について(機内モード)

- 飛行機内など電波の受信が禁止や制限されている場所では、機内モードに切り替えてください。
- 機内モードにすると、GPS電波と標準電波を受信できなくなります。
- ©ボタンを4秒以上押し続けると通常状態と機内モードの切り替えができます。押し始めてから2秒後に時刻モードに切り替わっても、4秒以上押し続けてください。



文字板の表示



1. SU MO(M) TU(T) WE(W) TH(T)
FR(F) SA(S):曜日
2. 機内モード
3. ST(STW):ストップウォッチモード
4. TR:タイマーモード
5. AL:アラームモード
6. AT(AUTO) STD DST:サマータイムの設定
7. L.A.T.:大まかな緯度を表示(N側が北緯、S側が南緯)
8. ON OFF:アラームオン/オフ
9. RC:標準電波を受信中
10. T+P:GPSから時刻情報と位置情報を取得中
11. T(TIME):GPSから時刻情報を取得中
12. Y(YES)/N(NO):直近の受信結果(取得結果)

13. P:直近の受信結果(取得結果):時刻情報と位置情報

N:直近の受信結果(取得結果):時刻情報または標準電波

- 都市設定時は位置情報の有無 (J-36 ページ、J-37 ページ)

機能の詳細は、ウェブサイトの取扱説明書 (操作ガイド) をご覧ください。

時刻合わせ(GPS)

受信に適した場所(GPS)

ビルや樹木など視界を遮るものがなく、上空がよく見える屋外で受信してください。



参考

- 受信しにくいときは、文字板を上に向けて動かさないようにしてください。
- 自動受信では、衣服の袖が時計の文字板にかからないようにご注意ください。
- 以下の場所では、GPS電波を受信しにくくなります。
 - 上空の見える範囲が狭い場所
 - 樹木やビルの近く
 - 駅や空港など混雑した場所

- 以下の場所では、GPS電波を受信できません。
 - 上空が見えない場所
 - 地下、トンネル内
 - 屋内（窓の近くでは受信できることがあります）
 - 無線通信機器など磁気を発する機器の近く

手動受信(GPS)


◆位置情報の取得（GPS）

位置情報の取得に成功すると、時計が現在地を認識し、時刻と日付を合わせます。

- 工場出荷時に、日本国内の位置情報を取得しています。時刻と日付が合っている場合は、位置情報を取得しなくてもご使用いただけます。

✔重要

- 時刻モードの通常状態で操作してください。

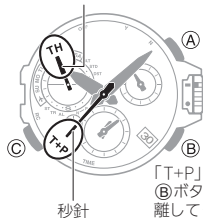
 モードの種類と切り替え…J-22

① 受信に適した場所へ移動して、文字板を真上に向けます。

 受信に適した場所 (GPS) … J-27

② 秒針が「T+P」の位置に移動するまで、**Ⓐ** ボタンを3秒以上押し続けます。秒針が「T+P」以外の位置に移動しても「T+P」に移動するまで押し続けてください。

時刻モードの通常状態では、モード針が曜日を示します。



「T+P」を示したら
Ⓑ ボタンから指を
離してください。

- 位置情報の取得には約30秒から約2分かかります。最大で13分かかることがあります。
- 位置情報の取得に成功すると、自動的に現在地の時刻と日付を表示します。
- 位置情報の取得は多くの電力を消費します。必要があるときのみ操作してください。


◆時刻情報の受信（GPS）

時刻や日付が合っていないときに、操作してください。

- GPS電波の時刻情報の受信に成功すると、自動的にホーム都市（タイムゾーン）の時刻や日付を表示します。

✓重要

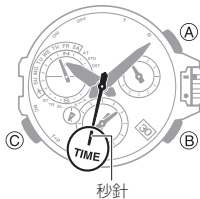
- 時刻モードの通常状態で操作してください。

 モードの種類と切り替え…J-22

① 受信に適した場所へ移動して、文字板を真上に向けます。

 受信に適した場所（GPS）…J-27

② ③ ボタンを1秒以上押します。秒針が「T」(TIME)を示したらすぐに指を離してください。




- 受信には約7秒から約1分かかります。最大で13分かかることがあります。
- 受信に成功すると、時計が自動的に時刻と日付を合わせます。
- 時刻情報の受信は多くの電力を消費します。必要があるときのみ操作してください。

自動受信(GPS)

✔ 重要

- 受信の際は、時刻モードの通常状態にしてください。

 モードの種類と切り替え…J-22

● 以下の条件をすべて満たすとGPSから「時刻情報」を自動受信します。

- 午前6時から午後10時の間
- 文字板に光(晴れた日の窓辺くらいの明るさ)が約1分から約2分連続して当たっている
- 夜間に標準電波の受信が成功していない

時刻合わせ(標準電波)

受信に適した場所(標準電波)

金属を避けて、時計の6時位置を窓に向けて置いてください。
標準電波を受信させている間は、時計を動かしたり、操作をしたりしないでください。

● 以下の場所では、標準電波を受信しにくくなります。

- ビルの中およびその周辺
- 乗り物の中
- 家庭電化製品、OA機器、携帯電話などの近く
- 工事現場、飛行場など電波障害が起きる場所
- 高圧線の近く
- 山間部、山の裏側



自動受信(標準電波)

✔ 重要

- 受信の際は、時刻モードの通常状態にしてください。



🔍 モードの種類と切り替え…J-22

- 午前12時(深夜12時)から午前5時の間、受信に適した場所に、時計を置いたままにしてください。

- 標準電波の受信中は秒針が「RC」を示します。
- 受信には約2分から約10分かかります。最大で約20分かかる場合もあります。
- 受信に成功すると、自動的に時刻と日付が合います。

りゅうずを使った操作

◆りゅうずのロックと解除

	マークを 合わせる位置	りゅうずの操作	りゅうずの 引き出し
ロック	■		不可
解除	●		可能

✓重要

- 防水性能の低下や衝撃を受けた際の損傷を防ぐため、りゅうずを使う操作が終わったら必ずロックをしてください。
- 本項目の詳しい操作および手動でのホーム都市（タイムゾーン）・サマータイム設定については、ウェブサイトの取扱説明書（操作ガイド）をご覧ください。

各モードの設定

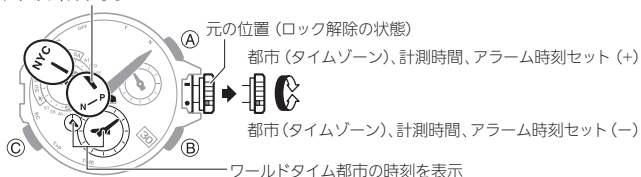
お使いになるときはりゅうずを左回しにしてねじ込みを緩めてください。

● りゅうずを1段引き、設定します。

- 時刻モード：ワールドタイム都市（タイムゾーン）の設定
- タイマーモード：計測時間の設定
- アラームモード：アラーム時刻の設定

ワールドタイム都市の位置情報

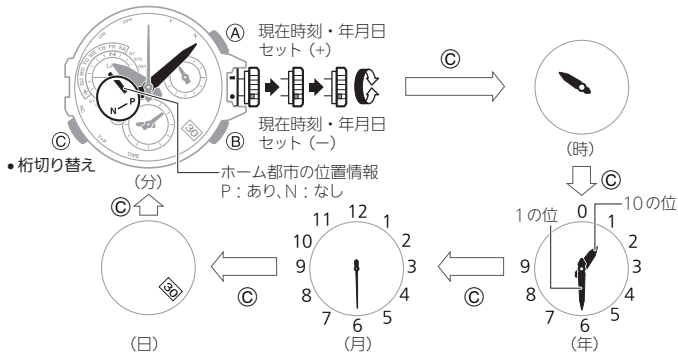
P：あり、N：なし



（例：ワールドタイム都市設定）

時刻や日付の手動合わせ

- りゅうずを2段引き、**Ⓒ**ボタンを約10秒間押し続けた後、時刻や年月日を合わせます。



(例: 2016年6月30日に設定)

製品仕様

- 精度 : 電波受信による時刻合わせができない場合は、平均月差±15秒
- 基本機能 : 時・分・秒、日付(2000～2099年までのフルオートカレンダー)
- 電波受信機能 : GPS電波 自動受信・手動受信
標準電波 自動受信
受信局自動選択機能(JJY、MSF/DCF77で対応)
受信電波 コールサイン:
JJY(40kHz/60kHz)、BPC(68.5kHz)、WWVB(60kHz)、
MSF(60kHz)、DCF77(77.5kHz)
受信結果確認機能
スタンダードタイム/サマータイムの自動/手動切り替え
- ワールドタイム機能 : 世界40タイムゾーン(世界27都市を含む)と協定世界時(UTC)の時刻を表示、サマータイム自動設定機能

ストップ : 計測単位 1秒
ウォッチ機能 計測範囲 23時間59分59秒(24時間計)
計測機能 経過時間

タイマー機能 : セット単位 1分
計測範囲 24時間
計測単位 1秒

アラーム機能 : セット単位 時・分

その他 : LEDライト、針位置自動補正機能、パワーセービング機能、
バッテリー充電警告機能

使用電池 : 二次電池

持続時間 : 約7か月

(光に当てないで、以下を使用
GPS時刻受信:1回(約10秒)/2日、
GPS位置受信:1回(約36秒)/月、
ライト:1回/日、アラーム:1回/日)

ご使用上の注意

■防水性

- 防水時計は時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

		日常生活用 防水	日常生活用強化防水		
			5気圧防水	10気圧防水	20気圧防水
表示	時計の表面または裏ぶたに表記	「BAR」 表記無し	5BAR	10BAR	20BAR
使用例	洗顔、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィン	×	×	○	○
	スキndaイビング(素潜り)	×	×	○	○

- 専門的な潜水＝スキューバダイビング(空気ボンベ使用)でのご使用はお避けください。
- 時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

- 防水構造の機種でも、以下のご使用は避けください。
防水性能の低下や、ガラスの内側が曇る原因になります。
 - 「水中で」および「時計に水分がついた状態で」りゅうずやボタンを操作すること
 - 入浴のときに使用すること
 - 温水プールやサウナなどの高温多湿な環境で使用すること
 - 時計を手につけたまま手洗い／洗顔／家事などをするとともに、石鹸や洗剤を使うこと
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れを拭き取ってください。
- 防水性を保つために定期的(2～3年を目安)なパッキン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水検査を行いますので、必ず「修理サービス窓口」またはお買い上げの販売店にお申し付けください(特殊な工具を必要とします)。
- 防水時計の一部にデザイン上、皮革バンドを使用しているモデルがありますが、皮革バンド付の状態
で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用は避けください。
- 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題は
ありません。夏季に高温の室外から室内に入りエアコンの吹き出し口付近で冷気にさらされたり、冬季に暖かい室内から出て屋外の冷気や雪に触れた場合など、外気と時計内部の温度差が大きくなることによって曇る時間が長くなる場合があります。
なお、曇りが消えなかったり、時計内部に水が残っている場合は、ただちにご使用をやめて、修理を「修理サービス窓口」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

■バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドは、劣化やさびなどにより、切れたり外れたりすること、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。これらは、時計の落下や紛失、けがの原因となります。バンドは常にお手入れをして清潔な状態でご使用ください。
- バンドに弾力性がなくなる、ひび割れ、変色、緩み、接合部のピンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、ご使用をやめてください。点検・修理(有償)や新しいバンドとの交換を、「修理サービス窓口」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

■温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。また、周囲の温度が約-10℃以下または約60℃以上では使用できる機能が制限されます。

■ショック

- 通常の使用状態でのショックや軽い運動(キャッチボール、テニスなど)には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。ただし、耐衝撃構造の時計の場合(G-SHOCK/Baby-G/G-ms)は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ(モトクロスなど)でのショックを受けても時計には影響ありません。

■磁気

- アナログ時計やコンビネーション(アナログとデジタル)時計は、針を動かすために磁石の性質を利用したモーターを駆動させる方式を採用していますが、このモーターは強い磁気(オーディオ機器のスピーカー、磁気ネックレス、携帯電話など)を発生する器具に近づけるとモーターの回転に影響を受け、針の「遅れ・進み・止まり・誤った時刻表示」などの原因となります。
- 極度に強い磁気(医療機器など)は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

■静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。

■薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含むクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■樹脂部品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂部品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光(紫外線)に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況(過度の外力、連続したこすれ、衝撃等)により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取って、乾かしてください。
- スケルトン(透明)仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- ご使用状態や保管環境により異なりますが、日々のご使用や長期保管によって劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

■皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が皮革バンドに移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに柔らかい布などで軽く拭いて、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光(紫外線)に当たったり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
ご注意:皮革バンドは、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■金属部品について

- 金属は、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さびが発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などでよく拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、よく乾燥させてください。
- ときどき、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹼水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹼水がかからないようにしてください。

■抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性の良い柔らかい布で拭き取り、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

時計も衣類同様、直接身につけるものです。長くお使いいただくために、汚れ・汗・水分などは柔らかい布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。

- 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。
- 金属バンドおよび樹脂バンドの金属部品は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹼水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹼水がかからないようにしてください。
- 樹脂バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂バンドの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- 皮革バンドは、水や汗がついた場合には、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- りゅうずやボタンや回転ベゼルは、長期間操作しないと動きが悪くなる場合があります。ときどき、りゅうずや回転ベゼルの回したり、ボタンを押したりしてください。

■お手入れを怠ると

〈さび〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
 - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- さびが発生すると、金属部分に鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は、ご使用をやめて、修理(有償)を「修理サービス窓口」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮革バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

本製品で使用している電池について

- 専用の二次電池を使用しておりますので、お客様は電池を取り外さないでください。専用の二次電池以外の電池を入れると時計の破損の原因になります。
- 二次電池は、ソーラーパネルが受ける光により充電されますので、一次電池のような定期的な電池交換の必要はありません。ただし、二次電池は長期的なご使用や使用環境により容量や充電効率が低下しますので、充電しても「使用できる時間が短くなった」と感じたときは、「修理に関するお問い合わせ窓口」またはお買い上げの販売店にご相談ください。ご希望により保証期間経過後は有料で充電点検調整いたします。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンド（フリータイプの中留構造バンド※を除く）の駒詰めには専用の工具が必要となります。お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはけが等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。

なお、「持込修理サービス受付窓口」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。

詳しくは、「持込修理サービス受付窓口」または「修理に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

※中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

（例）

